



ハビビ国務相の案内で
行動中の李登輝総統

中華民國の李登輝総統が春節(旧正月)二月十日)の大晦日から八日間、東南アジア諸国連合(ASEAN)三カ国を非公式訪問した。李総統にとっては八九年三月のシンガポ

李総統 東南ア三カ国歴訪に成果 元首並み待遇 中共に無力感

ール訪問以来、二回目の外遊。当時、シンガポールは中共と国交を結んでいなかったが、今回のフィリピン、インドネシア、タイの三国は、いずれも中共とは正式国交関係にあり、それだけに中共の激しい反発を誘った。しかし、こうした北京の激越な抗議にもかかわらずホスト三国は赤いじゅうたんを敷いて専用機を降り立つ李総統を元首として迎えた。この光景は中共への無言の抵抗を如実に示すものであり、半面このことは中華民国の国際社会へ離陸する第一歩を踏み出した象徴ともいえる。

今回の「度暇外交」(休暇)には、錢復外交部長、蕭萬長経済建設委員、合わせ。会談は当初一時間の予定だ

李総統はまず最初の訪問先であるフィリピンのスピック田米海軍基地でラモス・比大統領と会談。両首脳は華比断交以来、むろん初めての顔合わせ。会談は当初一時間の予定だ

党党営事業管理委員会の劉泰英主任委員や和信グループの辜濤松会長が同行した。一行約四十人。劉主任委員の随行は今後、国営・党営企業が南方進出の「先導役」を務め、また辜会長も同グループ傘下の中国信託商業銀行を中心とした金融サービスがそれぞれ政府の推進する「南向政策」に積極的に協力する姿勢を示すものである。

李総統はまず最初の訪問先であるフィリピンのスピック田米海軍基地でラモス・比大統領と会談。両首脳は華比断交以来、むろん初めての顔合わせ。会談は当初一時間の予定だ

「台湾工業区」については、江丙坤経済部長が先月下旬、企業グループを伴ってくわ入れ式のため訪比、本格的な建設も始まった。同地区は今後、免税加工輸出区となり、台湾とスピック湾の直航便開設や銀行支店の設置も具体化していく。そもそもスピック湾開発構想には九七年の香港返還後に対応するという側面も

中華週報

(毎週月曜日発行)

発行所

中華週報社

〒108 東京都港区三田5丁目18-12

〒106 麻布郵便局私書箱37号

電話 (3444) - 8724
8717

定価 1部 100円

年間定期購読料 4,000円

振替口座 東京 1-14395番

本号の主な内容

- 世界が中華民国を再認識……………3
- 対大陸投資三年間に12億……………4
- 週間ニュース・フラッシュ……………5
- ウルクァイ交渉結果と産業調整④……………6
- ・ラウンド交渉結果と新聞社説から……………8
- 中華民国の主張―新聞社説から……………8
- 旧態依然の中共元老政治……………10
- 大陸出版業界海賊版事情⑤……………12
- 中共さっそく宗教弾圧開始……………14
- 中共コンフィデンシャル……………15